

雲仙観光エコシステム共創プロジェクト

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 雲仙市ではDMPやオープンデータの整備を進め、個別事業者においては売上向上の成果が見られている。
- ・ 一方で、地域全体として事業者自らがデータを経営に活用する段階には至っておらず、データ活用の浸透が課題となっている。
- ・ 本事業では、官民連携によるコミュニティを形成し、データ活用スキル向上塾を開催。地域課題の洗い出しと施策実行を通じて、データ活用の定着を図る。
- ・ 事業者が自らデータを活用して売上向上やコスト削減を実現することで、雲仙市全体の観光DXを加速させることを目指す。

事業概要

雲仙市では、事業者が主体となる官民連携コミュニティを形成し、観光DMPとオープンデータを活用した施策の実証を行う。具体的には、ハブメンバー、グロースメンバー、インサイトメンバーといった3層構造で構成するコミュニティにおいて、データ活用スキル向上塾を開催し、地域課題の洗い出しから施策の検討、実行までを伴走支援型で推進する。また、施策の成果をコミュニティ内で共有することで、他の地域事業者による類似施策の展開を促す。これにより、地域全体でデータ活用の定着と観光DXの推進を図る。

＜コミュニティメンバーの役割区分＞

- ・ **ハブメンバー**
データ活用で成果を上げつつ、本コミュニティに未参画の事業者との橋渡し役となる。
- ・ **グロースメンバー**
データ活用を実践し、学びながら結果を出すことで地域に貢献する。
- ・ **インサイトメンバー**
他事業者の取組を理解し、自社でも取り組めるヒントを得る。

取組地域：長崎県雲仙市

コンソーシアム名：雲仙観光エコシステム共創コンソーシアム

代表事業者：一般社団法人雲仙観光局

実証内容

1. 官民連携によるコミュニティ形成とデータ活用スキル向上ワークショップの開催
2. オープンデータを活用した施策実行による売上向上、コスト削減
3. 施策成果のオープンデータ化による波及効果の創出

目標値

KGI コミュニティ内事業者の売上額+コスト削減額(合計5,500,000円)

KPI 施策実施事業者数(25事業者)

